

老朽原発 うごかすな! ニュース

第148号

発行・老朽原発うごかすな!
実行委員会

[連絡先]
090-1965-7102

7月30日 原子力事業本部（美浜町）に抗議と申し入れ

常軌を逸した関西電力 美浜原発の建て替えを許すな!

7月30日、猛暑日が続く
中、関西電力が言い出した美



事業本部（道路反対側手前）への抗議行動に80名

浜原発の建て替えに抗議するため、約80人の関西、福井などから集まった人たちが、関電原子力事業本部前（美浜）で抗議集会を開き、その後デモ行進をしました。

主催していただいた老朽原発うごかすな!実行委員会の皆さまには本当にお疲れ様でした。有難うございました。本来なら地元の福井が主催して開くのが筋と思いますが、力がなくいつも実行委員会の皆さまにお願いして感謝の念に堪えません。

関西電力は、使用済燃料の後始末もしないで、また新たな使用済燃料を産み出す新増

設を企てるとは、常軌を逸しています。福島第一原発事故を無かったことにする反省のかけられない姿勢に怒り心頭です。

集まった皆さんは、原子力事業本部前でマイクアピール、シュプレヒコールを続け、代表の方が関電会長（榊原定征）、関電社長（森望）、関電原子力事業本部長（水田仁）宛ての申し入れ書を手渡しました。この日は、新聞社やテレビ局の取材が多くあり、福島第一原発事故後初めてとなる原発新増設に対するマスコミの関心の高さがうかがえました。今日のマスコミの関心の高さとは裏腹に、先の参院選では原発の話は争点にならず、国会議員、有権者の無関心さが際立ちました。

酷暑の中のデモ行進では、車の中から手を振ってくれる

方もおられ、集まった皆さんの熱気と共に元気づけられる集会、デモでした。

関西電力が、国が、いくら原発を必要と言っても、核のゴミの解決ができず、コスト高でリードタイムが長く、地震に耐えられない原発に未来はありません。日本各地、世

原発増設のための地質調査を許すな! あらためて怒りがこみあげてくる

7月18日「美浜原発の敷地内において原発新増設に向けて、地質調査などをはじめ」というニュースが流れ、

すぐに老朽原発うごかすな!実行委員会から抗議声明が出され、緊急に呼びかけられた7月30日の「原発増設をゆるすな!緊急行動」に参加しました。マイクローや各地からの車で、美浜現地には80人の参加者が集まりました。

今回、関電原子力事業本部での申し入れ書の読み上げを担当することになり、練習しながら老眼鏡を握り



事業本部担当者に申し入れ

しめてバスに。バスの中ではマイクが回って発言が続きます。長年原発の不安を抱えて

界で頻発する地震が原発を襲うまでに、原発が有事に巻き込まれる前に、一日でも早く止めるよう努力せねばと思う集会デモでした。主催された皆さん、参加された皆さん、本当にお疲れさまでした。

（福井県若狭町
石地 優）



事業本部に抗議のシュプレヒコール

きたところへ老朽原発が次々再稼働された美浜の人々にとって、今回の関電の発表はひ孫の代まで原発の不安を甘受せよということ、これまでとは段階を画するもの、ぜひ、アメーバデモで住民の皆さんに会って声を聞きたいです。弁当などを各自仕入れて美浜駅前で昼食。その後、すぐ近くの関電原子力事業本部に向かいました。

ながら怒りがこみ上げました。続いて、原子力発電に反対する福井県民会議の申し入れがありました。マスコミの取材も多かったですが、「参加者にどこからお金が出ているのか」と質問した記者もいたと聞いてびっくり、記者も刷り込まれているなあ!

海のそばの美浜は、気温は京都市内より数度低いですが、炎天下でのデモ行進に「日傘を使ってください、ここに予備もあります」というアナウ

なぜ、関電は原発にしがみつくのか 地震大国日本で、「原発はすべて廃炉」

7月22日、関電が美浜原発の新增設に向けて、地質調査をすることを新聞で知りました。すぐに老朽原発うごかすな!実行委員会の方からの電話を受け、抗議に行く申し込みました。抗議に行く途中の車内で、7月11日の名古屋高裁金沢支部での美浜原発・高浜原発仮処分即時抗告審で、関電が「原発を運転することとは、本来行使できる権利であり、自由である」とい

ンスが。それでも日傘を使わない方も多く、これも慣れが必要なのかな? この日はいつもの美浜町内デモの約半分のコース。歩ききって、解散場所の美浜町役場前でも、「美浜町は住民守れ!」などのコールを上げた後、主催側が用意した水やかち割り氷でしばし休息を取り帰途につきました。次は8月2日の関電本店前での行動です。

(AWC)

永谷ゆき子



事業本部 (写真左方向) に抗議

画」までは「原発依存を可能な限り低減する」としていたのに、第7次のそれでは、「原発を最大限活用する」としました。

命より原発を優先する関電と日本政府に強い憤りを覚えます。

連日の酷暑に続き、40度ぐえの暑さでしたが、京都、大阪、滋賀、地元福井の方々と80人で、関電原子力事業本部に、原発新增設に向けた地質調査をやめるよう申し入れ、その後関電の原発新增設を受け入れないよう訴え、美浜町役場までデモをしました。

この日昼前、ロシア・カムチャツカ沖で地震・津波



美浜町内をデモ

が起きたという情報が入り、みんなびつくりしました。日本は地震大国です。日本政府が率先して国民の生命を守るため、「原発は全て廃炉」とし、自然エネルギーに政策を変えていかなければならないと思います。7月31日の報道では、北海道電力が、泊原発の再稼働を目指すということで

関電の動きをきつかけに、

このような動きが次々に起きてくることは、絶対許してはならないと思います。

(大津市)

吉水律子